

憲

法に背を向け、
ひたすら憲法に反する方向へと
舵を取り続ける政権に対抗する
良心のメッセーヂ

伊藤真が問う 日本国憲法の真意

編者
法学館憲法研究所
伊藤 真
浦部法穂
水島朝穂
森 英樹

日本評論社

日本国憲法の危機がいわれるいま
伊藤真氏と第一級の憲法学者が、
あらためて憲法を語り、伝える

■ A5版188 ページ ■ 定価:1500円+税
■ 法学館憲法研究所編 ■ 日本評論社刊

本書の構成

はじめに

第1部 統治システム

「問題提起：国家システムとその改変を問う」 伊藤 真
「現代国家の統治とそのシステムにおける憲法の役割」 森 英樹

第2部 平和主義

「問題提起：日本国憲法9条の意義—韓国・ドイツの状況に照らしながら」
伊藤 真
「日本国憲法9条の真意とは—集団的自衛権行使容認が認められないわけ」
水島朝穂

第3部 人権

「問題提起：人権規定の解釈と意義」 伊藤 真
「日本の人権状況を考える」 浦部法穂

特定秘密保護法施行、集団的自衛権
行使容認、選挙制度改革の遅れ、
表現の自由への抑圧、貧困・格差問題
等々、日本社会をめぐる焦眉の
問題に憲法の視点で切り込む。

法学館憲法研究所

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町17-5

電話 03-5489-2153

FAX 03-3780-0130

E-mail info@jiclj.jp

ホームページ <http://www.jiclj.jp/>